

日本共産党 森川ヤスエ 議員

一般会計繰り入れで国保の安定化を

(質問) 国保加入者の半数(51.6%)が収入ゼロか収入増が見込めない加入者であり、負担増はすでに限界を超えている。市長は市民がどこまで国保税率引き上げに耐えられると考えているか。また、国保加入者は高齢者と子どもが約半数であり、国保税を値上げすると生活費に食い込んで困窮する。高齢者への医療費支援としてはもちろんのこと、

収入のない子どもにかかる税へ一般会計から繰り入れのルール化の検討を求める。

(答弁) 国保財政を健全化させるために保険税の見直しを行ったが、被保険者の負担を抑制できるよう、保険税の収納率の向上と医療費の抑制に努めていく。一般会計繰り入れや保険税額の見直しについては、平成30年度の広域化による本市の国保財政への影響を見極めながら慎重に検討していく。

その他の質問 ○5才児健診後の発達支援体制の充実

日本共産党 石田 秀三 議員

地域包括ケアシステムについて

(質問) 介護保険制度の改定で、「要支援1・2」の訪問介護、通所介護が介護保険から外れて「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行することとなった。その移行期限である来年4月に向けて、実施体制はどのように進んでいるのか。現在の要支援のサービス水準を落とさずに実施することを求める。

(答弁) 総合事業への移行に向けて、鈴鹿亀山

地区広域連合と連携して準備を進めている。「要支援1・2」の認定を受けている方への現行の訪問介護、通所介護については、これまで通り利用できるよう、円滑な移行を目指していく。介護認定を受けていない方には、市の総合事業の中で、さまざまな実施主体によるサービス提供を支援する仕組みを検討していく。その要となる生活支援コーディネーターを、来年度に社会福祉協議会へ1名、その後に各地域包括支援センターへ1名配置していく。

その他の質問 ○Cバスの利用者への対応について

緑風会 今井 俊郎 議員

白子地区の雨水対策について

(質問) 白子川流域の上流において住宅建設が進んでいる。鈴鹿市総合雨水対策基本計画策定に当たり、地域的な個別の課題として白子地区浸水対策の時点修正や第3排水機場更新、白子西調整池築造、第2排水機場増強が挙げられている。過去の浸水経験から最重点地区として取り組んでいくべきであるが、どのように考えているのか。

(答弁) 議員ご指摘の通り、白子地区の浸水対策は重要度、緊急性が高く、早急に見直しが必要と認識し、喫緊の課題として検討していく。早期に浸水被害の軽減が図れるように、既存施設の評価を含め、効率的、効果的な実現の可能性を加味し、排水施設、貯留浸透施設、遊水機能を合わせて総合的に評価して浸水被害の軽減策を検討していきたいと考えている。

その他の質問 ○白子駅西駐車場について

○自治会からの要望への対応について

自由民主党 鈴鹿市議団 森 喜代造 議員

詐欺対策について

(質問) ①本市の現状について。②家庭での取り組みについて。③詐欺撲滅と今後の取り組みについて。

(答弁) ①平成27年に市内で発生した特殊詐欺は14件で昨年度より5件増加し、被害総額も約8,045万円と過去最高である。また、市職員をかたる還付金詐欺が頻繁に発生し、状況は深刻で

あり、さまざまな被害防止に取り組んでいる。②自分で自分を守る「自主防犯」が大切であると考え、被害未然防止の出前講座や防犯講話などを開催し、市民の皆様が被害に遭わないよう、広報啓発活動を行っている。③鈴鹿警察署、鈴鹿地区金融機関防犯協会、鈴鹿市の三者が一体となって被害の発生抑止に努める。また、市民からの特殊詐欺に関する情報を関係機関と連携を取りながら公表し、鈴鹿警察署と共に防止活動に努めたい。

その他の質問 ○学校教育について